

令和6年度 商圈分析レポート（壬生町）

1. 基本概要

位置：栃木県下都賀郡壬生町

人口：38,600人（2023年）

世帯数：16,347世帯（2023年）

昼夜間人口比：93.1（2020年）

高齢化率：29.0%（2020年）

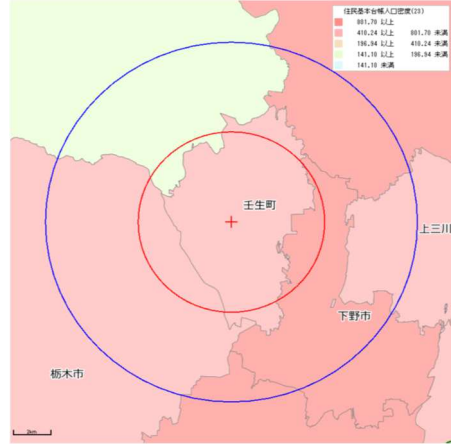


図1：壬生町の位置と人口分布

2. 商圈特性

(1) 産業構造

事業所数：1,462所（2021年）

業種別割合：

卸売・小売業：23.1%（337事業所）

建設業：13.1%（191事業所）

製造業：10.5%（154事業所）

宿泊・飲食業：10.3%（151事業所）

順位	先数上位業種(所)	偏差値	比率上位業種(%)	偏差値
1	卸売小売	337	卸売小売	23.1
2	建設業	191	建設業	13.1
3	製造業	154	製造業	10.5
4	宿泊飲食	151	宿泊飲食	10.3
5	生活関連	136	生活関連	9.3

図2：産業別事業所割合

(2) 購買力

消費購買力：545億円（2022年）

1世帯あたり消費購買力：336.6万円

消費の特徴：

- ・婚礼関係費が高め
- ・茶類・肉類・家事用消耗品の支出割合が高い

順位	金額・偏差値	比率・偏差値
1	婚礼関係費 48.3	茶類 65.9
2	地代 47.4	家事用消耗品 61.1
3	生地・糸類 47.3	肉類 61.0
4	運送料 47.3	上下水道料 61.0
5	腕時計 47.2	油脂・調味料 60.7

*順位は全（166）品目中

図3：消費購買力の分野別比較

3. 住宅・生活環境

持ち家比率：71.1%（2020年）

商業施設充足度：コンビニ数（人口1万人あたり）：5.2（県内平均より高い）

医療施設（医師数/1,000人）：17.0（県平均以上）

4. 今後の課題と展望

壬生町では、今後の人口減少と高齢化の進行が大きな課題となっています。特に、生産年齢人口（15～64歳）の減少により、地域経済の縮小が懸念されます。また、小売業や飲食業を中心とした小規模事業者の事業継続が難しくなっており、新規開業の減少や既存店舗の閉鎖が進んでいます。

さらに、都市部への人口流出により、地域経済の活性化が求められています。特に、事業所数の減少（2016年比 -6.0%）や高齢化率の上昇（2020年 29.0% → 2030年 32.1%）に対応するため、持続可能な地域経済の構築が不可欠です。

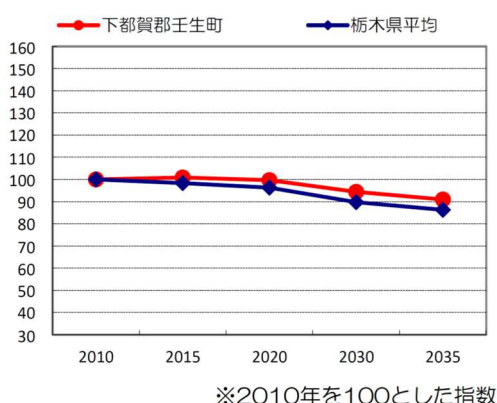


図4：将来人口推移予測

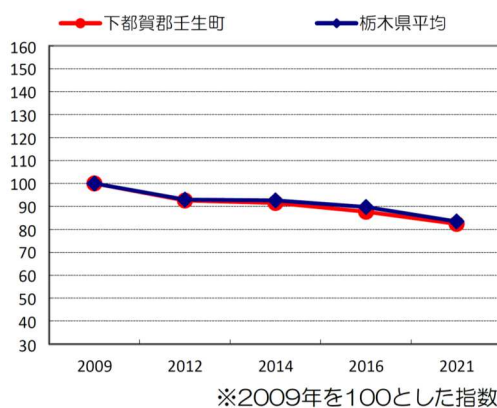


図5：民営事業所数推移

【対策案】

1. 地域密着型の販促支援

- ・地域内消費を促進するため、地元商店や飲食店と連携した販路開拓事業の実施。
- ・地域の特色を活かしたマーケットやイベントの開催。

2. デジタル活用の推進

- ・小規模事業者向けのデジタルマーケティング講習の実施。
- ・地域企業のECサイトやオンライン販売チャネルの強化。

3. 資金支援と事業承継支援

- ・地域金融機関と連携した低利融資制度の拡充。
- ・小規模事業者向けの事業承継支援プログラムの導入。

4. 観光・交流人口の増加

- ・地域資源を活用した観光プランの策定。
- ・外部からの起業・移住支援策の充実。

これらの施策を通じて、地域の小規模事業者を支援し、持続可能な地域経済の発展を図ることが求められます。